



伝える稽古

神様に心しずめて祈ります。何かがこころに感じられます。でも、それははつきり言葉になりません。私の心には池があるようです。神様からいただいたあの「おもい」がたしかに、わたしの心の池にポトンと落ちました。でも、どこにあるのかわかりません。

神様に向っているの、かんがえる、という心中祈念の内容は、たとえ漠然としても欠かせないことです。心の池の祈る・考えるは例えかすかではあっても、神様と私の大切な繋がります。そこから私なりの「信心の思い」や「信心の自覚」、引いては「明日への道」が生まれます。

でもそれを言葉にして伝えるとき、ストリートに言ってしまうと、思いが相手にいまいち理解されないことが多いのです。

まずは、どう話すか、よりも、どう聞かれるか、をしっかりとさせなければなりません。これが布教の出発点です。それを、しっかりと納得できるよう学んでいく、それが「話し方信心」です。

霊地教室で一緒に求めていきませんか。

(全任講師 立川和正)

金話研

霊地教室新聞

金光教話し方研究会 霊地教室

平成26年 9月 第2号
〒755-0026 宇部市松山町4丁目
TEL 0836-21-9544(宇部東教会)
E-Mail konwaken@gmail.com
URL <http://konwaken.konko.jp/>

金光教話し方研究会

ご霊地教室のごあんない

※今回のテーマ： 日常の布教者

※目標： 1.布教者にとっては、日常が信心であり、その中で話すことが最も基本になる、ということを改めて確認する。
2.話をするにしても、まず互いの人間関係ができていなければならない、ということを再確認する。

- ◇日時 平成26年9月14日(日) 10:20~16:45
- ◇集合 10:20 本部広前集合(御祈念、その後会場へ移動)
- ◇会場 金光北ウイング 光風館研修室
- ◇対象 金光教教師・輔教およびそれに準ずる方
- ◇参加費 3千円(金光教学院生は千円)
- ◇申込み 以下のいずれかの方法でお申込み下さい。

申込み〆切 9月13日(土)

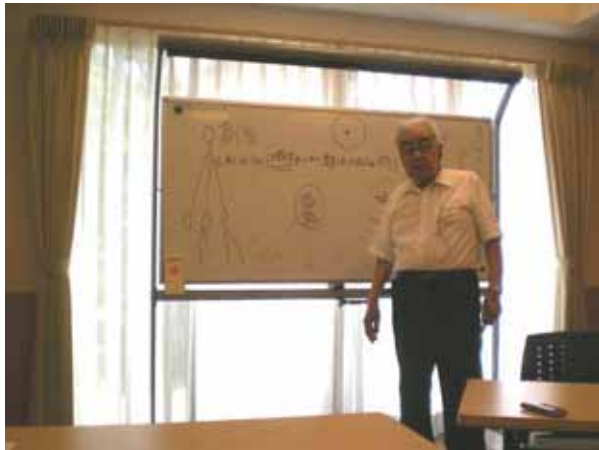
- ①電話 080-3887-6446 (担当:角南^{すなみ})
- ②メール konwaken@gmail.com
- ③ホームページ <http://konwaken.konko.jp/> (申込みフォームから)

※次回は11月30日(日)の予定です。



霊地教室 だより

7月27日(日)、光風館において霊地教室が開催されました。今回は話し合いの場での話し方ということで、話し合いへの正しい参加の仕方や、司会者の御用をさせていただくための能力をやしなう方法などを学ばせていただきました。



最後に主任講師の立川和正先生より、これからの霊地教室のあり方や、今後の展開についてのお話をいただきました。

道を伝える話し方 金光達太郎述

あいよかけよ
昭和47年12月(第75号)



S先生は、やや落ち着いて話しはじめられました。

「わたくしは、昨夜、いろいろ反省しているうちに、眠れなくなっていました。それで、朝の起床の合図を聞いたとき、頭が重くて困りました。『今日はダメだ』と思いかけてましたが、朝のご祈念をしているとき、知らぬ間に『きょうも、しっかりと修業させてください』とお祈りしていました。やがて、『頭が痛くても研修にはさしつかえないようにしてやる』と金光さまが仰せられたような気がしました。そのときから、頭は痛いまですが、気持ちのシヤンとしています。祈らせていただけたことが、ありがたくなっていきます。」

S先生は、ありがたさに、顔をしかめるようにして、話を結ばれました。ピンと何かみんなの胸に伝わってくるものがありました。

前の二人の先生のは、考えてみればありがたいお話し、S先生のは、ありがたくなってならぬ心が、そのまま出たお話でした。

そこで、わたくしは、みなさんに

「えらそうなことを言っただけ申しわけありませんが、話のできないのを話べたのせいにして

はいけません、中味さえよければ、いまのS先生のように、特別うまい話でなくても、人の心に迫るものがあるのです。ありがたいたいというお話しができないのは、心がありがたいという気持ちがないからです。信心の話は、いま信心していなければできないのです。そこで、お願いがございませぬ。みなさん、どうかこれから毎日必ず信者さんの前で、一回はご自分のその日の体験を話す時間をお決めになって、それを目あてに、毎日毎日、話せる内容、つまり生活の中に生きた信心を積み重ねて行かれるよう努力してください。」と、お願いしました。

ずいぶん強いことを申しました。わたくしは、自分に言いかけられるような気持ちで、思いきって申しあげました。先生方は、それを素直に受けとめてくださいました。わたくしはありがたくてありがたくて、涙が出てしまいました。道は、道を知っている人から伝わるのではありませぬ。道を行う人、道を生活の中で実践する人によつてのみ、生き生きと伝えられてゆくのだと思います。

二、道は、人間関係の上に

表わしてこそ社会に生きる

山陽線の急行列車が、金光駅に停車しました。メガネをかけた色白の青年が乗ってきて、キョロキョロと見まわして、一人分のあいている席をみつめました。腰をかけようとしたとき、ガタンと列車がゆれたので、ヨロヨロと前の人の鞆をふんでしまいました。青年は顔を赤らめて口の中でボンボンと何かいいましたが、だれにも聞きとれませんでした。

続く

※東京金光教センタービル教室のご案内

日時：毎月第2・第4火曜、19:00～20:45
場所：東京都文京区本郷2-17-11号
詳しくは ⇒ <http://konwaken.konko.jp/>

※東京学生寮教室のご案内

日時：毎月第3土曜、18:30～20:00
場所：東京都小金井市貫井北町5-22-27
お問い合わせ ☎ 042-326-0444 (学生寮)

